

## 令和3年度 第3回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和3年11月22日(月) 15:00 ~ 16:50  
会議方法 Google Meetによるオンライン会議  
出席者 (学外) 江崎, 熊埜御堂, 中島, 林田, 平井, 松本, 宮崎, 吉岡,  
渡辺の各委員  
(学内) 中島, 田村, 河田, 細井, 小嶋, 原田の各委員  
陪席者 田中監事, 足立監事, 山根副学長, 松浦副学長, 岸本地域学部長,  
中村医学部長,

### 議事要旨の承認

前回(令和3年9月27日開催, 令和3年度第2回)の議事要旨を承認した。

### 議 題

#### 1. 令和3年度第1次学内補正予算(案)及び目的積立金の事業計画(案)

資料1に基づき, 追加配分可能額及び執行計画案(令和3年度実施事業, 学長裁量経費組入), 大学分及び附属病院部分の施設・設備整備にかかる事業計画案について説明があり, 審議の結果承認した。

### 報 告

#### 1. 令和2年度財務レポート

資料2に基づき, 令和2事業年度の財務レポート<プラス>及びダイジェスト版の作成について報告があった。

#### 2. 鳥取県の新型コロナウイルス対応の検証について

資料3に基づき, 鳥取県における新型コロナウイルス感染症の罹患率・死亡率が全国の都道府県と比べて低い要因について, ウイルス学的、疫学的、政策・対策的観点から医学部・医学部附属病院にて検証した考察について報告があった。

### — 委員からの主な発言 —

- ◇ 鳥取県は全国的に医療体制が充実している県ではないが, 県内の医療機関・医療従事者が一致団結して新型コロナウイルスへ対応する中で鳥取大学医学部及び医学部附属病院の協力に対し感謝する旨発言があった。
- ◇ 今回のデータは, 想定される第6波に向けた医療体制整備の為にも有用であり, 行政・地域医療機関で広く有効活用していきたい旨発言があった。

## 討 議

### 1. 大学のDXについて

資料4に基づき、現在検討中の鳥取大学におけるDX推進構想について説明があり、説明後、各委員との意見交換が行われた。

#### — 委員からの主な発言 —

- ◇ 推進構想の具体的なタイムスケジュールについて質問があり、来年度から始まる第4期中期目標期間である6年間の内に実現していきたい旨回答があった。
- ◇ DX化によって、従来の学生と教員の双方向的な繋がりに留まらず、学部を超えたテーマ別・プロジェクト別の組織横断的な学びの広がり期待したい旨発言があった。
- ◇ 「教育」の本質は学生一人一人をしっかりと見ていくことであり、DX化という大きな流れの中にあっても、目の前の学生を見失わないよう教員は意識する必要がある旨発言があった。

### 2. 「地域連携プラットフォーム」について

資料5に基づき、現在COC+事業として行っている「地域創生人材育成・定着推進協議会」を拡充・強化することで「地域連携プラットフォーム」を構築する計画について説明があり、説明後、各委員との意見交換が行われた。

#### — 委員からの主な発言 —

- ◇ 地方国立大学が今後生き残っていくためにも重要な施策であり、着実に進めてほしい旨発言があった。
- ◇ 現在の地域創生人材育成・定着推進協議会は公的機関による枠組みとなっているが、地域の情報発信を担う機関も積極的に活用していただき、共に課題解決の道を探っていく関係性を築いていただきたい旨発言があった。
- ◇ 地域人材の育成・定着のために重視している点について質問があり、従来から県内就職を念頭に置いたインターンシップに力を入れているが、現在は地域により深く関わっていく活動も幅広くサポートしている旨回答があった。

#### そ の 他

- ◇ 資料6に基づき、最近の本学の主なトピックスについて説明があった。
- ◇ 資料7に基づき、令和3年度第4回目を令和4年1月19日開催予定である旨説明があった。